

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	3	
事業名	ALT職員人件費		会計	款	項	目
			一般	10	1	2
施策	3	心豊かなまち	課名	学校教育課		
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名			
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実				
主要施策	③学校教育環境の条件整備					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ネイティブ言語で話せる外国人を配置する。
事業内容	①〔外国語指導助手派遣事業〕一般財団法人自治体国際化協会、総務省、外務省、文部科学省等の運用されているJETプログラム (The Japan Exchange and Teaching Programme) を通じて、各中学校の英語授業を中心に外国語指導助手 (ALT=assistant language teacher) を配置する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	中学校英語時間数 (週/クラス)	2	2	2	時間		2
	2	小学校外国語活動 (学期/クラス)	1	1	1	時間		1
	3	小学校外国語活動5、6年 (週/クラス)	1	1	1	時間		1
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					13,964	11,915	0	
財源内訳	直接事業費 A				13,898	11,849	0	
	うち一般財源				13,898	11,849		
人件費 (千円) B					66	66	0	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.01		66	0.01	66	0
	臨時職員 (人・千円)				0		0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	ALTの効果的な活用と生徒とのコミュニケーションを活性化させることが重要と考え、ALTの質的維持も含めて現行の雇用を継続していく。	③取組の課題	より活用度を上げて、生徒の英語力向上に役立てたいと考えるが、現在の雇用人数では現授業時間数が限界である。
②R1年度に実施した取り組み	JETプログラムの雇用を通じて、それぞれの中学校へALTを各1名配置し、英語コミュニケーション力の向上を図った。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、ALTの効果的な活用と生徒とのコミュニケーションを活性化させることが重要と考え、ALTの質的維持も含めて現行の雇用を継続していく。